

## 子育て支援でつながる和…

～支援する方や、支援を受けている方、  
利用を待ち望んでいる方の声をお届けします～



提供会員の赤川 逸子さん  
ファミサポ歴2年

### ファミサポのお誘いをもらった時「やってみれば」と背中を押してくれたのは主人でした。

赤川さんは提供会員として、夏休みなどの長期休暇の間だけ、朝8時に子どもを預かり、近くの児童クラブへ送り届ける支援を2年間続けています。

「無理のない範囲で、できることをする」。それが赤川さんの、ファミサポとの関わり方です。「長期の休みの間だけだし、負担を感じたことはないですよ」と笑って話す赤川さんは、仕事をされている他にも商工会女性部の活動、サンフレッチェのサポーターと、多方面で沢山の人と関わりを持っていきます。

「人生は楽しみたいと損」「人生には潤いが必要」をモットーにしている赤川さんは、「ファミサポは、内容を知らなければ抵抗を感じる人もいると聞きます。ただ、話を伺った時に自分ができる小さなことだと思えました。若い方との出会いは楽しいし、出会いを大切にしたい生き方をこれからもしていきたい。ファミサポもその一つ」と笑顔で話されています。

### ファミサポを利用していない時 子どものお迎えはあせっていました…。

現在、ふなさ保育園で保育士として勤務している西本 美幸さんは、提供会員と依頼会員の両方に登録をしています。ですが、「実際は、子どもを預かってもらう依頼会員としての利用が多いですね」と語ります。勤務している保育園では、勤務時間が変則的になる早番や遅番があります。また、特に行事の前になると準備で忙しくなり「あともう一つ仕事して帰りたいな…」と思うこともしばしばあるそうです。

そんな時、このファミサポを活用するようになって、子どもの送り迎えでバタバタしたり、仕事がたまってイライラしたりすることがなくなったと、当時は振り返ります。

夫婦共に市外出身で、安芸高田市に頼れる方が少ない西本さんは、「ファミサポで子どもを見てもらう方は、ご近所で、子ども同士も同級生。困った時に頼れる大切な人」と笑顔で話されています。



提供と依頼の両方の会員登録を  
されている西本 美幸さん  
ファミサポ歴6年

### ファミサポの事もっと多くの方が 知ってくればいいのに…と思います。

「ピアノを教えている時は、私のレッスンができる時間」と話すのは、自宅でピアノ教室を開いている片岡 絵美さん。「もっと教える時間や子どもを増やしていきたい」と夢を語る片岡さんは、ピアノを教える時間に子どもを預かってもらうためにファミサポに登録しました。今は支援を受けていませんが、登録しておく安心感があると話します。

「両親は仕事しているので、子どもを預ける時は少し気を使います。また、ママたちの間では、自分が出かけたとしても子どもを預けることに罪悪感を感じて、ためらうとよく聞きます」と多くの母親の抱え込む気分を話します。

「自分が子どもの時に保育所でお世話になった方が、この子の提供会員になってくれました。親子で同じ方にお世話になるのは不思議でもあり、安心できますね」と利用を待ち望まれています。

片岡さんは、地域に頼れる人がいることに心強さを感じ、仕事と育児の両立を目指しています。

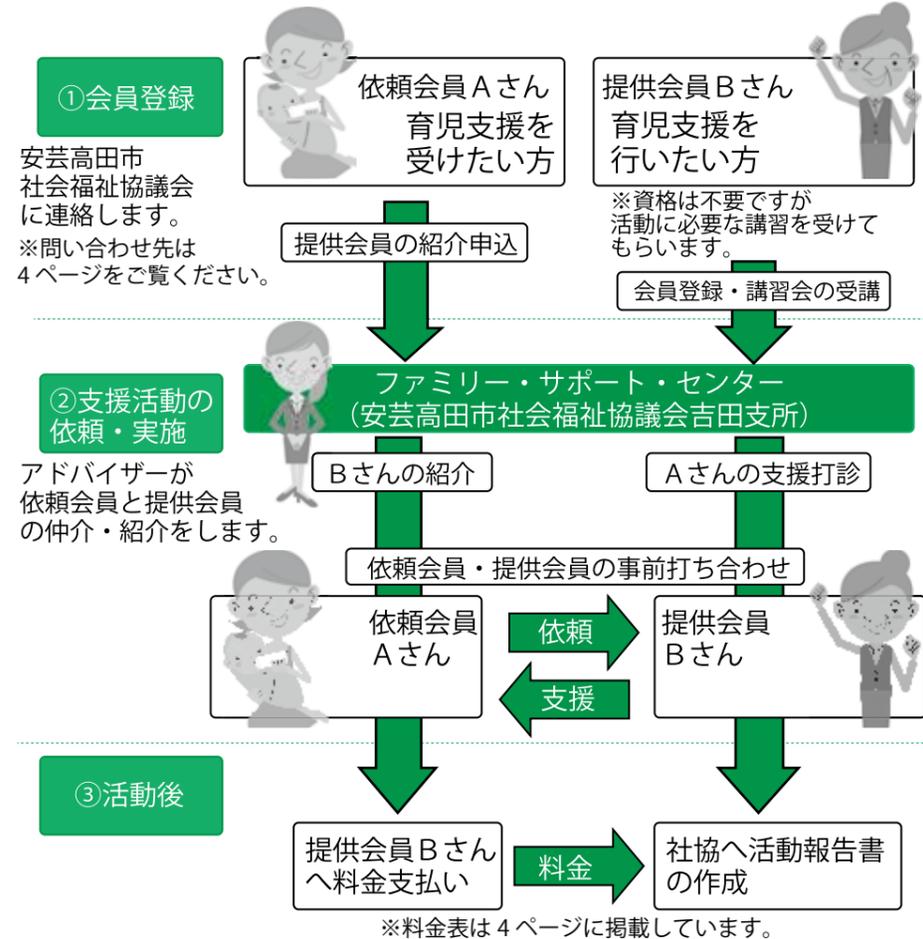


依頼会員でサービスを  
待っている片岡 絵美さん  
と愛結ちゃん  
ファミサポ歴2年



## ご存じですか？ ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センター事業会員2015夏の交流会にて



愛称は「ファミサポ」。そう呼んでください。  
安芸高田市ファミリー・サポート・センター事業(通称ファミサポ)は、子育てを応援してほしい人(依頼会員)と、子育てを応援してくれる人(提供会員)が会員登録を行い、互いに支えあう事業です(左図参照)。

子育て支援課が、社会福祉法人安芸高田市社会福祉協議会(社協)へ委託し実施している事業で、子育てをしている方を支援する市の事業です。